

成果と課題

どの項目においても肯定的な回答を多くいただきましたが、否定的な回答も一定数ありました。その結果を受けて、保護者の回答に込められた思いを今後の学校活動に生かしていきます。また、昨年度に比べてアンケートへの回答数が大幅に増加したことで、学校教育への関心や期待の高さと、責任の重さをひしひしと感じています。今後とも「生徒も教職員も幸福になる学校」の実現に向けて、教職員一丸となって取り組んでまいります。

○アンケート項目1「お子さんは学校へ行くのを楽しみにしている」では84%の肯定的な回答がありました。生徒用アンケートの結果でも95%の生徒が「学校に来るのが楽しいと思いながら過ごすことができた」と回答しており、概ね学校の活動が好意的に受け入れられていることがうかがえました。

○項目3「お子さんはルールを守って生活できている」、項目5「お子さんはまわりの人や友達など相手のことを思ったり理解しようとしている」では、ともに95%の肯定的な回答をいただきました。生徒がとても落ち着いた学校生活を送ることができていることが、保護者にもしっかり伝わっていると感じています。

○項目4「お子さんは家庭で復習や宿題に取り組んでいる」では35%の否定的な回答をいただきました。すべての項目の中で最も肯定的な回答が少なく、本校の課題であることは明らかです。家庭での学習習慣をつけることは保護者の責任であると責任転嫁するのではなく、生徒が思わず帰ってから教科書を開きたくなるような授業の展開や、課題の出し方を研究し工夫して課題解決を目指したいと思います。

○項目6「お子さんと学校のことについてよく話をする」については92%の肯定的な回答がありました。高かった昨年度の回答結果を大きく上回る結果をととてもうれしく思います。学校も生徒のがんばっていることを、もっと保護者にお伝えしていきたいと感じました。

○項目7「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」については、肯定的な回答が76%でした。今年度は学校をあげて人権学習に取り組み、生徒アンケートの結果では「命の大切さや人権を大切にすることについて学ぶことができた」「自分やまわりの友達が困っていることを、大人に相談することができた」がそれぞれ肯定的な回答が97%、80%と昨年度よりも改善していることから、毎月行っている生活アンケートの結果を共有し、丁寧な対応を実践する等の取り組みを継続すれば、理解が得られる日は近いと思っています。

○項目9「学校は学級や学校の様子を各種たよりやホームページ等で家庭へ知らせている」については76%の肯定的な回答をいただきました。学校ホームページには、生徒の活動の様子等を不定期ですが公開しています。どうぞご覧ください。今後もホームページやさくら連絡網等のデジタル配信を効果的に活用して情報の発信に努めます。

○項目10「学校は子ども、保護者、地域の意見や要望に応え、改善に活かそうとしている」では75%の肯定的な回答をいただきました。今年度は長い間行われなかった生徒総会を復活させ、学校を良くするために活発な話し合いを全校生徒で行い、その中で出てきた要望や提案を教師が受け取り、その中のいくつかは実現しています。また今回の学校評価アンケートの結果を検証し学校教育に活かすこと、学校運営協議会でいただいたご意見を、学校づくりに反映させていくこと等により、「生徒も教職員も幸福になる学校」の実現に努めてまいります。

○項目12「体験学習や学校行事は充実したものになっている」では87%の肯定的な回答をいただきました。生徒アンケートでも「学校行事などに友達と協力して取り組むことができた」において94%が肯定的な回答をするなど、学校行事が生徒の健全な成長につながっていることが推察できます。今後は運営等もできるだけ生徒会に任せるなど、行事のアップデートを行いたいと考えています。